

レトロな喫茶はまちの社交場

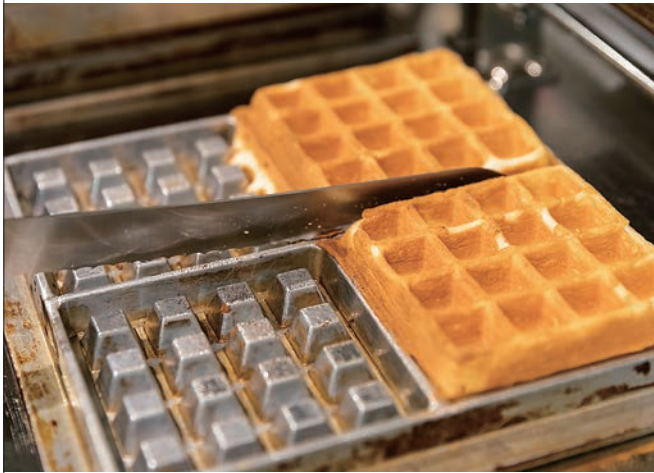
純喫茶わらうかど

〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字高石野123-2 道の駅ことおか「ふるさと資源情報センター」内/TEL 0185-88-8237
<https://ja-jp.facebook.com/waraukado.akita> / 営業時間：10:00~17:00 / 定休日：水曜



甘い香りに誘われて わらう鹿渡には福きたる

「美味しい
ワッフルと珈琲で
おもてなします」
と市川さん



地域のにぎわい創出の場へ

昨年7月に、道の駅「ことおか」内にオープンした「純喫茶わらうかど」。注文が入るたび、丁寧に焼き上げるワッフルの甘い香りが漂う店内で、カウンター越しに笑顔を見せてくれるのはマネージャー・市川 聡明さん。

市川さんは、田舎暮らしに憧れて3年前に三種町の地域おこし協力隊として移住してきた。当初は地域の特産品であるじゅんさいの販売に携わっていたが、転機となったのは1年前。道の駅で喫茶店営業の計画が持ち上がり、市川さんはそのマネージャーに立候補した。

「喫茶店が地域の社交場になれば良いなと思ったんです。でも飲食業は全くの未経験で、さて、困ったな、と」。

そこで相談したのが、じゅんさいの販路拡大で活用していた当センター。企業支援の一環で、潟上市の人気店で研修を受講できる運びとなり、仕入れ、調理、オペレーションなど、喫茶店経営のノウハウを学んだ。

オープン後はたちまち「ワッフルの美味しい喫茶店」として有名に。平日は地元の住民、休日は観光客が立ち寄る人気スポットになった。

専門家派遣制度を利用した新規メニュー開発

手探りの経営が徐々に軌道に乗る中、何度訪れても楽しめる場所にしたい、と再びセンターに相談。「専門家派遣制度」を利用し、桜庭みさおさんにメニュー開発を依頼した。桜庭さんの提案は、純喫茶につきものの“ワッフルを使用したサンドウィッチ”。気軽にテイクアウトができる商品として、今では人気メニューのひとつとなっている。

この日も常連さんのグループやワッフルの好評を聞きつけて訪れたお客さんたちでにぎわう「わらうかど」。今後は地元の特産品を使ったメニューも開発していきたいと、市川さん。お立ち寄りの際には、ぜひ甘いレトロな雰囲気を楽しんでほしい。



店名は市川さんが命名。「笑う”門”には福来たる」と地名の「鹿渡」をかけている

事業概要

秋田県よろず支援拠点

売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター / 秋田県よろず支援拠点
 TEL.018-860-5605